

# 社会福祉法人日光会令和5年度事業計画

## <令和4年度を振り返って>

令和4年度は、人件費や諸物価の高騰による経費が増加する一方で、長期にわたりコロナの影響を受け、ご利用者の利用控えや感染防止の為の受け入れ制限等による収入減少が続き、極めて厳しい経営環境であった、

老健については、ショートステイの受け入れを制限したこともあり入所稼働率が低下した。

通所デイケアについては、6月より半日利用のご利用者を別館1階に分けるなどの体制変更を行い、環境整備にも努めた。なお、通所においてもコロナの影響等もあり、収入については厳しい結果となった。

令和2年2月にオープンした新規事業である保育園については安定して園児が確保できるようになり、老健やデイケアで勤務を希望する職員の採用にも寄与している。

経費面では電気料金を始めとした諸物価が高騰しており、人件費についても増加しており、今後の採用環境を考慮すれば、さらに増加傾向が続くものと思われる。

居宅事業所においては令和3年9月より3人体制から4人体制へと増員したが、それに伴いご利用者も着実に増加している。

将来の介護職員採用が困難になることを見据え、令和1年より技能実習生としてミャンマー女性を受け入れているが、平均的に能力も高く、ご利用者にもスムーズに受け入れていただけており、今後についても計画的に受け入れを進めて行くものとする。(現在実習生は5名)

## <令和5年度の課題>

コロナ収束の状況により収入が大きく変わって来るところから、業況の見込が非常に立てにくい状況にある。収入が減少してもそれに伴い減少する経費はわずかであり、今しばらくは厳しい状況を見込まざるをえないと思われる。

令和5年度についての大きな課題は、入所の稼働率の回復と超強化型への移行の体製造り及びデイケアのご利用者の回復が急務となる。

保育園については定員に対し、ほぼ満額の収入が得られる状況になっており、園児入れ替わりをスムーズに対応し、今の状況を維持していくことが重要となる。

経費面では、適正な人員の見直し、職員の定着率を高めることによる人材紹

介料の削減等人件費の抑制に努めるとともに、常に業務に無駄が無いかきめ細かく見直しを行なって行くものとする。

常勤職員の比率が高く、パート職員の効率的な活用についても進めて行く必要がある。

#### <ご利用者の満足度を高めるために>

令和4年度は3年度と同様にコロナの影響で、各種イベントの自粛や縮小、面会制限などで大変ご不便をかけたしまった。

ご利用者の満足度の充実は常に意識しているところであるが、このような環境のなかでも工夫をかさねることで、より充実した生活を送っていただけるように、努力しなければならない。

なお、コロナについてもある程度行動制限が緩和されて来ていることから、老健ご利用者と保育園児の交流などは開始しており、イベントの自粛などについては、可能な範囲で解除して行きたい。

真心からのおもてなしを感じていただけるように、理念研修等を通じて職員の質の向上を図るべく力を注いでおり、職員よりの改善提案も積極的に採用し、ご利用者の過ごしやすい環境整備にも引き続き努力するものです。

#### <令和5年度収支予算計数>

収 入	590,000,000 円
費 用	568,200,000 円
サービス活動外収支	1,199,000 円
収支差額	20,601,000 円

※コロナの状況により、適時事業計画については見直しを行うものとする。